

## 種目【音楽科】

項目	書名	17 教田
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得できるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○領域・分野ごとに系統的に教材が配列されており、分かりやすく見開きごとに「学習のめあて」や、題材ごとの学習の見通しが提示されている。</li> <li>○楽器の実物大の写真を用いたり、児童側から対応できる向きで示されていたり、奏法がわかりやすくなっている。</li> <li>○知識・理解が確認できる透明シートや、前の学習との関わりが分かる「ふりかえる」や、他のページとの関連がある部分にマークがあり、系統的に学ぶ工夫がされている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学び方や学習の手順を知ることができる「まなびナビ」の活動により、音楽表現を工夫することができるようになっている。</li> <li>○聴き取った「音楽を形づくっている要素」をもとに、個々の音楽を捉え、魅力を感じ取ったり思いや意図を生かした演奏技能を身に付けたりするような、教材の工夫がある。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○発達段階を鑑み、生活の中の音楽をより多く取り入れながら体を動かし、深く曲を理解し、豊かな情操を培い、学びに向かう力を育めるように工夫されている。</li> <li>○多種多様な音楽をもとに音楽観の拡大に役立つ教材が設定されていたり、オプション教材が掲載されていたり、児童の音楽への興味関心を高められる工夫がある。</li> <li>○多様な学びに対応するために、「まなびリンク」として、目次にQRコードを載せ、学習に役立つWEBコンテンツとして紹介されている。循環コードをもとにしたアドリブやジャズの取り扱い等、様々な音楽観を拡大できるような教材が含まれている。</li> </ul> <p><b>&lt;生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の音楽や祭り等の音楽や民謡などが豊富に掲載され、選択教材として和楽器にチャレンジできる内容が盛り込まれていたり、興味・関心が深まるような風景や楽器の写真が掲載されていたりする。</li> <li>○中学校で学ぶ発展的な知識について記載されている部分にマークがあり、系統的に学ぶ工夫がされている。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○拡大写真や挿絵で曲のイメージをもつために、3ページ分の見開きが用いられている。</li> <li>○巻頭の写真には、児童の生活になじみのある音楽について、抜粋された写真が掲載されており、音楽の学習への期待が高まるようになっている。</li> <li>○巻末には音楽の要素がまとめられており、理解しやすい配色にて掲載されている。</li> <li>○国歌「君が代」について、歌詞の大意が示されており、伝統と文化を尊重し、他国を尊重する態度を育むように配慮されている。</li> </ul>	
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「共通事項」が教材ごとに「音楽のもと」として示され、3年以上にメモ欄が付けられている。</li> <li>○「はってん」として、記号や用語について、巻末や別枠に示されている。</li> <li>○児童が聴き取ったことなどを言葉で表す言語活動を生かしたポートフォリオが設定されており、書き込むことができる。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用しやすくなるために、教科書の大きさや楽譜・文字の大きさ等が発達段階に応じている。</li> <li>○全学年通して、創造力を高められるような教材が多く、深い学びになるような取り扱いができ、創る音楽の教材では、その段階がスムーズで、楽しく学べ、音から音楽へ構成することができるように工夫されている。</li> </ul>	

## 種目【音楽科】

書名 項目	小学生の音楽	27 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教芸</span>
内 容	<p><b>〈知識及び技能が習得できるようにするための工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学年間のつながりを見通した系統的な題材構成になっており、題材のねらいに即した教材が扱われ8～10題材で構成されている。</li> <li>○楽器の持ち方や奏法が図や写真で具体的に提示され、正しい姿勢・奏法がわかるようになっている。</li> </ul> <p><b>〈思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各領域において児童の思考が深められるように、活動手順が示されていて、図や写真が効果的に配置されている。</li> <li>○作品例やワークシート例、グループ活動時の会話を吹き出しにより例示し、児童が表現について思いや意図をもったり、音楽のよさを味わいながら聴いたりすることができる。</li> </ul> <p><b>〈学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に学習に臨むことができるように、1年間の学習の見通しをもつ「学びの地図」や、学習したとの確認ができる「ふり返りのページ」を設けている。また、「新しく覚えること」「そだてよう」のコーナーも設定され、学習の積み重ねができるようになっている。</li> <li>○多様な学びに対応するために、曲紹介や動画などのコンテンツを閲覧できるQRコードを、教科書の内容に対応させ活用できるように工夫されている。</li> <li>○言葉や音でコミュニケーションを図ることができる教材やコラムを設けて、対話的な学びが深まるように配慮されている。</li> </ul> <p><b>〈生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の伝統的な音楽・古典芸能に関わる題材を大切にし、それらに親しみながら学習が進められるようになっている。音楽の歴史をつくった世界や日本の音楽家についても学習できる。</li> <li>○外国語の遊び歌や躍り歌、国際理解教育との関連に配慮して英語の歌が掲載されている。また鑑賞曲では、世界の国々の音楽に親しみを持ち、それぞれの国の文化を学ぶことができる。</li> <li>○各学年において、生活の中の身の回りの音や音楽に対する意識を高める活動が配列されており、生活を豊にすることへの気づきにつながる写真やコラムの記載がある。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○器楽の楽器やオーケストラの楽器の写真や演奏の様子の写真が大きく掲載されており、楽器名や楽器の並び方もわかりやすく表示されている。</li> <li>○我が国に伝わる風習を大切にしたい資料や風景が厳選され、わかりやすく見やすく配置されている。</li> <li>○国歌「君が代」への意識を高めると共に、発達段階に応じて国際性を養うことができるように国歌が取り扱われている。</li> <li>○「こころのうた」に使用されている写真は、曲のイメージがとらえやすくなっている。また、地名や演奏している団体名等が表記されていて、児童の身近に感じられる資料になっている。</li> </ul>	
表 記 表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年の発達段階に合わせた文字の大きさ、数、配置、レイアウトが工夫されている。</li> <li>○見開きのページの端に題材名と題材のねらいが示してあり、毎時間見直しをもって学習することができるとともに、基礎基本の充実を図るための「共通事項」も示されている。</li> <li>○様々な学び方のマーク（音楽づくり・新しく覚えること・思いだそう・鑑賞・チャレンジ・ステップアップ）が表示され、教材の学びを可視化することができる。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習をスムーズに進められるように題材や教材が系統的・発展的に配列され、学習内容の分量も適切に配列されている。</li> <li>○音楽で社会や身の回りの人々とつながる学びをし、生活を豊かにする心を育むことができる。</li> <li>○紙面編集全体的に、特別支援教育の視点にあった配慮や、色覚特性をもった児童への配慮がされている。</li> </ul>	